

**「『お話がよく聞こえなかった』というのは、内容以前の問題。
声が届いた、響きが届いた、ということで喜びを感じております。」**

本 PDF 資料はドリームの音響システムを導入いただいた浄土真宗本願寺派・田野山 西敬寺（長野県）のご住職・木賣 慈教様のインタビューをまとめたものです。本堂の音響のお悩み、それがどのように解決されたのか、22 分に渡るインタビュー動画は下記 URL からご覧いただけます。

↓↓↓↓

<https://youtu.be/EREDcB3CSKY>



長野県 田野山 西敬寺 住職 木賣 慈教（きうり じきょう）様

ードリームの音響システムを導入する前の設備や、導入のきっかけについてお聞かせください。

旧本堂は規模的にも今の本堂よりだいぶ小ぶりでしたので、スピーカーなどの特別な設備は用意しておりませんでした。

私の声が大きいということもあり、ご門徒の皆様方にはそんなに問題なく響いていたと思うのですが、新しい本堂を建設していただくにあたり色々な情報を収集しました。その中で、ご縁をいただいている、福井県の水上甚栄様が色々な法要の録音・録画に自主的に取り組まれていらっしゃいまして、その中で平面波スピーカーをご紹介頂きました。

やはり浄土真宗では「聴聞に極まれり」という言葉があるように、ご法話を皆さんに心ゆくまでゆっくり聴いていただくということを大切にしております。

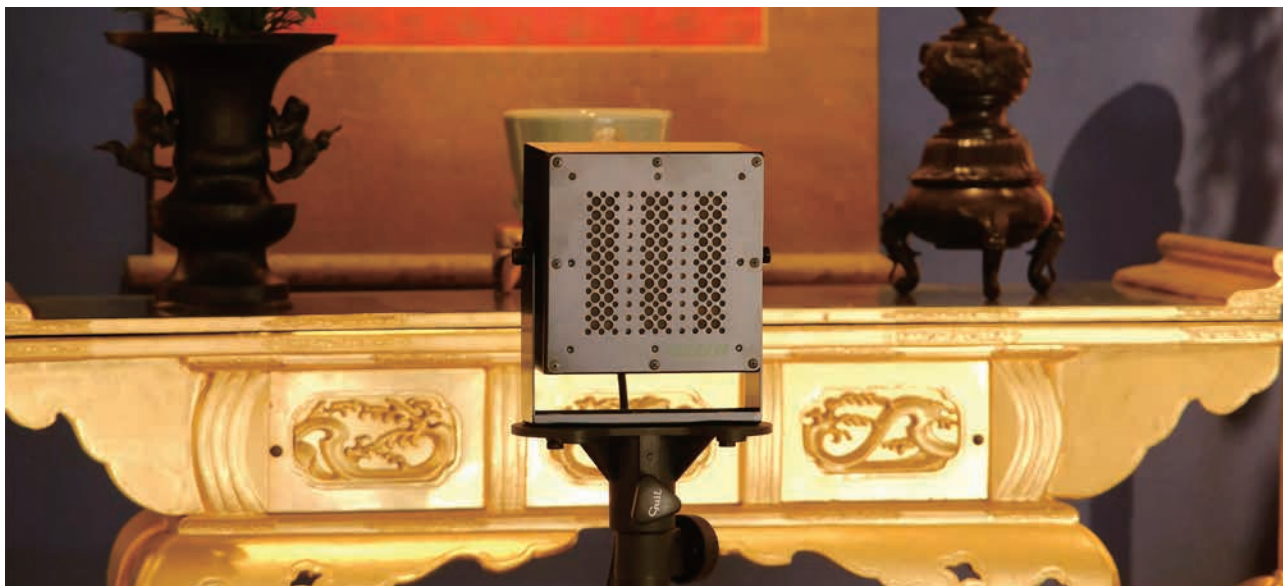
しかしお耳が不自由であったり、ご高齢であったり、だんだん聴力が衰えてきた方々がせっかくお寺にお参りをしても、大切なご法話が聞き取れなかったとか、しっかりと受け止めることができなかった、そんなお話を聞いたんですね。

水上様がそういった方々にもしっかりとご法話が伝わるようにということで色々な工夫をされていらっしゃいました。その中で出会ったのが、ドリームさんの平面波スピーカーだったとお聴きしております。

実際に水上様の活動を通して、多くの喜びの声が沸き上がっていることを知りまして、一度私も平面波スピーカーを体験してみたい、ということで御社にご連絡をさせていただきました。

— 初めて平面波スピーカーを体験された時はいかがでしたか？

正直、驚きました。本当に驚きました（笑）不思議な感覚になりました。いわゆる今まで私が考えていたスピーカーというのは、音を拡声する、大きくする、と単純に考えていたのですが、この平面波スピーカーは、音がまさにビームのように届いてくるとでも申しましょうか、話し手の声がボソボソっという声であっても、まるで私の耳元で囁いてくださっているように聞こえたんですね。最初は、音が大きくなるものですから、「一体このスピーカーは機能しているのだろうか？」と、非常に不思議な感覚になりました。音は大きくなっていないのに、確かに聴こえてきているんですね。非常に不思議な体験でした。



— 導入の決め手について教えてください。

やはり、ご法話をしてくださる先生方もご高齢の先生が多ございます。以前は、お声にハリがおりになった、しかしお年を召されてきて、だんだんご自身の感覚と聞いていただいている方に届いている感覚というものが、大変失礼な言い方かもしれないのですが、狂ってこられていらっしゃるのかなと、思う場面が多々あるんですね。しかし、このスピーカーを使わせていただくと、そういう心配が一切ない。本当に話し手の方が、力むことなく、自然に話していただければそれがそのまま聞いてくださっている方に届いている、という印象を受けました。そこで、これはぜひ導入したい、ということで決定をさせていただきました。

— 導入して特に良かったとお感じになられたことを教えてください。

何よりもお参りくださった方が、「お話がよく聞こえなかった」というのは、内容以前の問題になってきますので、まず声が届いた、響きが届いた、ということで喜びを感じております。聞こえた・聞こえないというような話題が出てこない。これがまた、ちょっと不思議だなという感覚を抱いております。

— 西敬寺様の普段の取り組みについて、またその取り組みの中で、新しい音響システムがどのように作用しているかお聞かせください。

今ですね、お寺葬・お寺でご法事ということで私たち取り組みをさせていただいております。家族構成、社会構成が変わる中で、今までのセレモニーホールでのお葬式ではなくて、本堂をご利用いただきまして、お葬式、ご法事を勤めさせていただいております。

そういった動きの中で、マイクを使う方が不特定になってきています。もちろん、司会者の方が入っていただいてアナウンスしていただく場面が多いのですが、私が一番大切だなと思っておりますのが、喪主を務めてくださったり施主を務めてくださった方が、法要の最後に皆さんに感謝の思いを伝えたり、またお亡くなりになった方の大切な思い出や感謝の思いをお話ししてくださることで。ですがやはり、話慣れてない方は、マイクの使い方って苦手ですね。



株式会社ドリーム 代表取締役 則行正信

スイッチが入っている・入っていない、というところも、実際ああいう場面では緊張してわからなくなってしまう。ましてや、本当に緊張してらっしゃいますから、自分の声が自分で聞こえてないような状況でいらっしゃいます。みなさんにどのように聞こえているかなんていうことは、わからない状態だと思うんですね。しかし、ドリームさんの平面波スピーカーを通しますと、非常に、声が届く。また、非常にありがたいなと思っておりますのは、集音の能力です。これが非常に高いので、マイクの位置が多少ずれていても、しっかり、声を拾ってくださるんですね。

緊張していらっしゃり、なおかつお悲しみの中でいらっしゃいます。普段以上に声が出ない状態であっても、本当にささやく感じのお話であっても、それがそのまま皆さんの耳に届いている。下手な話、ささやきが拡大されてしまっただけでは台無しになってしまうと思うのですが、平面波スピーカーにおいては、囁きが囁きのまま皆さんの耳に届いています。

特に御葬儀の後、本堂正面からお棺をご出棺させていただくのですが、その直前にお時間を頂いて万感の思いを込めてお話いただく、その声が参加者にしっかり届いているということをご確認ください、今非常に喜ばせて頂いております。

一お寺葬の他には、どのような取り組みをされておられますか？またマイクの他にも抱えていた音のお悩みがありましたらお教えください。

お寺の活動は地域に根ざしておりましたり、また問信徒の方々、他宗派では檀家さんというふうにおっしゃいますけども、多くの方がお集まりくださっています。お寺に背負ってくるものも違います。悲しみを背負ったり、喜びを背負ったり。喜びで言いますと最近ありがたいことに、所産式ですとか、七五三参り。こういったものを、お寺を選んでお祝いをしてくださる方がだんだん増えて参りました。

悲しい時、嬉しい時、色んなご縁を結ばせていただくのですが、共通して申し上げられることは、やっぱり言葉の響き、どうやってお互いに交換するかっていう部分だと思うんですね。

そういった意味では、色んな事情を抱えてらっしゃって、身体的なご事情も抱えていらっしゃったり、心の状態も大きく影響すると思うんですけども、その時に以前使っていた音響システム、携帯型のスピーカーは、いわゆる拡声器なんですよ。

音が聞きづらい人は、以前は前にお座りいただいていた。できるだけ、音が聞こえるように、お話が聞こえるように。

ところがいざ、前に来てお話を聞いていただくと今度は音が大きすぎて割れて聞こえるって言うんですね。非常にこれが悩みどころだったんです。

音を大きくしなければ伝えられないんだけど、本堂のお座りいただく位置によって（聞こえ方が）だいぶ違うんですね。

前にスピーカーを置いてありますから、どうしても前の方が聞こえやすい。ところが（後ろで）聞こえにくい方が前の方に来ると、今度は大きすぎてそれこそ耳や頭が痛くなる。

で、また後ろの方に行こうってことになるとう今度は聞こえにくい。非常に矛盾する課題を抱えていたのですが、平面波スピーカーにはその要素がないんですね。

前に座ってる方も、後ろに座ってる方も、おそらくほぼ同じように聞こえてるんですね。本当にこれ、不思議な感覚でして、実際に私も、自分でマイクテストをしながら、この位置ではどう聞こえるだろうとか、聞いてみるとほぼ均一なんです。

もちろん条件もあるわけなんです。スピーカーの向き、お座りいただいている方の耳の高さにスピーカーを合わせたり。例えばイベントでは、ヨガであったりとか、今日もメガゴングを使った音楽イベントがあるのですが、皆さんに横になっていただいて、その振動を味わっていただく、その時はスピーカーの向きを調整します。



寝転がって聞いていただく、立って聞いていただく、その時にはやはりスピーカーの角度の問題があるとご説明も受けていたので、自分なりに調整しています。前に座っている方と後ろに座っている方で、音の大きさが違ったかっていうと、私が実際にテストして思うのですが、違わないんですね。

だからこそ、錯覚に陥ってしまう。あれ、これ音入ってないんじゃないかと。ところが、自然に聞こえてる。

今まで自分が、どれだけ力んで聞いていたのかな、構えて聞いてしまっていたのかなということ、なんか気付かされたエピソードの一つですね。

—費用についてはどのようにお感じになりましたか？

私も布教師の端くれですので、布教師として他のお寺に行くことがあります、その時にこのスピーカーだったらいいのにな、と思うんです。本当に力む必要がなく、（大勢に話していても）一対一で話しているような感じでお話ができるので。

（群馬県西福寺の）阿部先生がすごく絶賛されていました。「それなりの費用かかったけれども、これは布教師として、住職として、様々に経験した中での一つの結論だ」と仰っていました。阿部先生のお寺が私どもに先行して建立され、平面波スピーカーも導入されたとお聞きしたので、阿部先生ともメールのやり取りさせていただきました。その際、先生から「費用はかかるよ」と聞いていました。

言ってしまうと、それなりのスピーカーというものは世の中にあるけれども、ご聴聞にこだわるのであるならば、やはり、ここに浄財を使わせていただいて、しっかりしたものを整えるってことは住職の使命ではないか、というようなことを先生からお伝えいただきまして。

正直予算限られた中で、実際比較するとそれなりのものってというのはそれなりの値段で今あるじゃないですか。

ですから本当に自分の中でもどうなんだろうなあって思いはあったのですけれども、導入してよかったなっていう。

矛盾しているかもしれないんですけども、わからない（気づかない）んですよ。本当に縁の下の力持ちで、知っている私が喜ばせていただいていると言ったらおかしいんですけども、ご利用いただいているご門徒さまにとっては、全く音響の

ことに煩わされることがないって言ったらいいのでしょうか。そういうことを心配しないで、ずっと入って来て、ずっと帰っていける。帰り道に「マイクの調子悪くて嫌だったね」とか「聞こえにくくて嫌だったね」。そう言ったお話が一切出てこないですね。

しかし逆に言えば、お寺の音響素晴らしいね、よくマイクが入ったね、聞こえて来たねって話も、ほぼないです（笑）これが全く、不思議なところではあるんですけども。ですから、なんというんですかね、導入した側にしてみれば、喜んでほしいっていうのが気持ちとしてはあるんですけども、住職すごいねって言ってほしいところはあるんですけども、それを越えた喜びっていうんですかね。そういったものがあります。



— 新本堂の設備のおかげで、コロナ禍での活動にもあまり制約がないと伺いましたが、コロナ禍の活動を通してご住職が感じられたことをお聞かせください。

コロナの中で、ライブ活動が難しくなっているわけですが、同じ場所、同じ時間、共有するっていう素晴らしさを、今改めてコロナの中で感じております。同じ場所、同じ時間で、仏様のお救いを聞かせていただく、それを共にするっていうことは、かけがえのないことだと思うんですね。

世の中インターネットが普及し、それこそ以前からラジオ・テレビという媒体があるわけなんです、皆さんがお寺に足をお運びくださるといのは、その時間、その場所でしか体験できないこと、共有できないことがあるってことをみなさん、ご存知だからなんですよね。

世の中、やっぱり講演会も無くならないですよ。能楽師の方が、よくおっしゃるんですが、舞台というのは、演者と観劇されている方が一体になって初めて生まれていくもの。

私もご法話、色んな場面でさせていただいて、全く同じ話にはできないわけなんですけれども、同じ話の流れをしていて痛感するんですが、時間・場所・お集まりになってくださっている方が違えば、やっぱり違うお話になってくるんです。仏様のお話ですので、違うお話って言うわけではないのですが、お聞きくださっている方も、その時の自分の心の状態ってというのが、常に変わっていくわけですから、同じようなエピソードを聞いても受け止め方が違います。

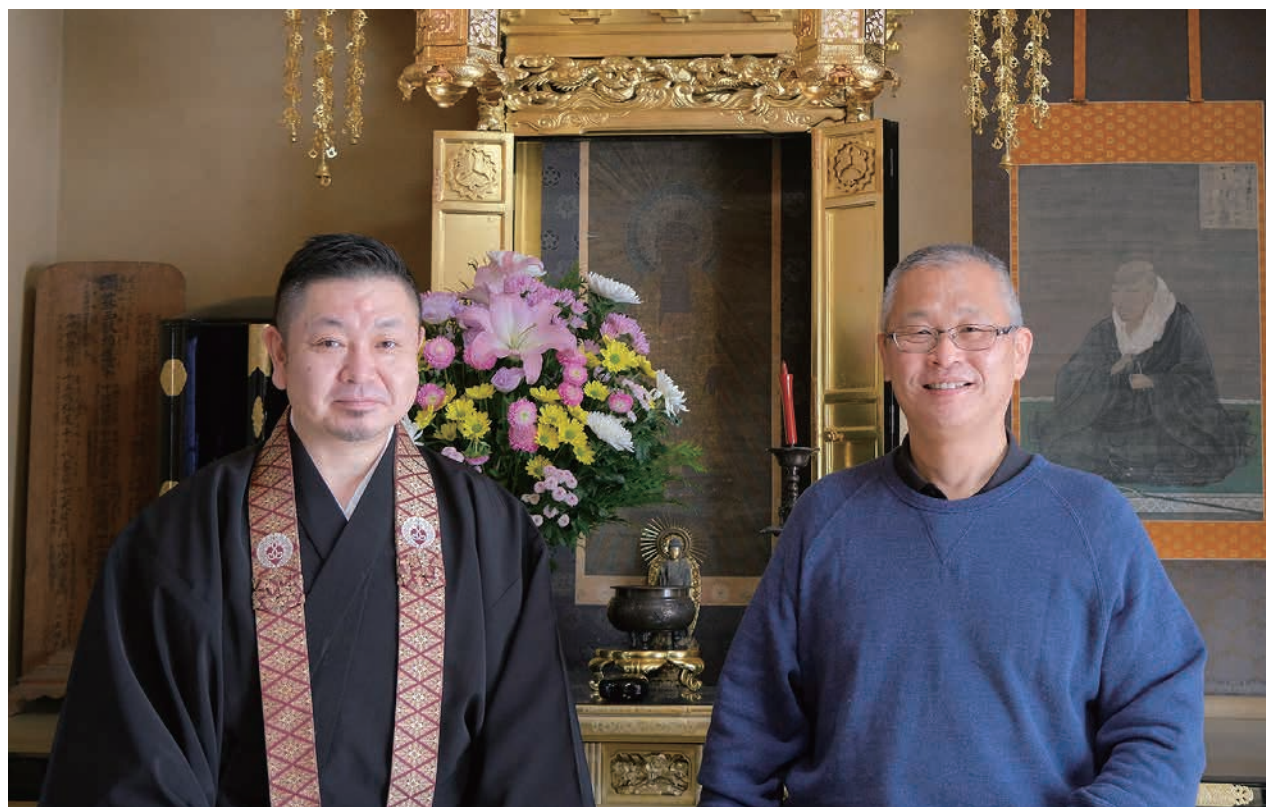
また大切なのは、その響きだと思ふのですね。

やはり同じ言葉を発したとしても、その発した人が、抱えている背景、その方の人格を通して、言葉が響いて聞こえてくるってことがありますよね。

これは音楽でも共通だと思ふんです。その響きをより正確に、より丁寧に伝えるということは、今のこの世の中では、この音響システムすごく大切なものを担っていただいていると思ふのですね。

ぜひ、ただ音を大きくする、爆音を響かせてという形ではなくて、伝えたいその思いが、本当に丁寧に、正確に伝わるっていうことを、みなさんに平面波スピーカーを通じて感じていただきたいと思います。

木賣様、インタビューへのご協力ありがとうございました！



お寺の音響システムのお悩みはぜひ弊社にご相談ください

株式会社ドリーム

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1694-1

TEL : 045-531-5331

HP : <https://www.dream-pa.jp> Mail : info@dream-pa.jp

浄土真宗本願寺派・田野山 西敬寺様のご連絡先

〒381-0016 長野県長野市南堀 336

TEL : 026-243-5570 FAX : 026-403-2400

HP : <https://www.tanozan-saikyouji.jp> Mail : tanozansaikyouji@gmail.com

お寺への平面波スピーカーシステム導入実績

西敬寺（長野県長野市）、毫摂寺（福井県）、浅草寺（東京都）、西福寺（群馬県）高顕寺（岡山県）他